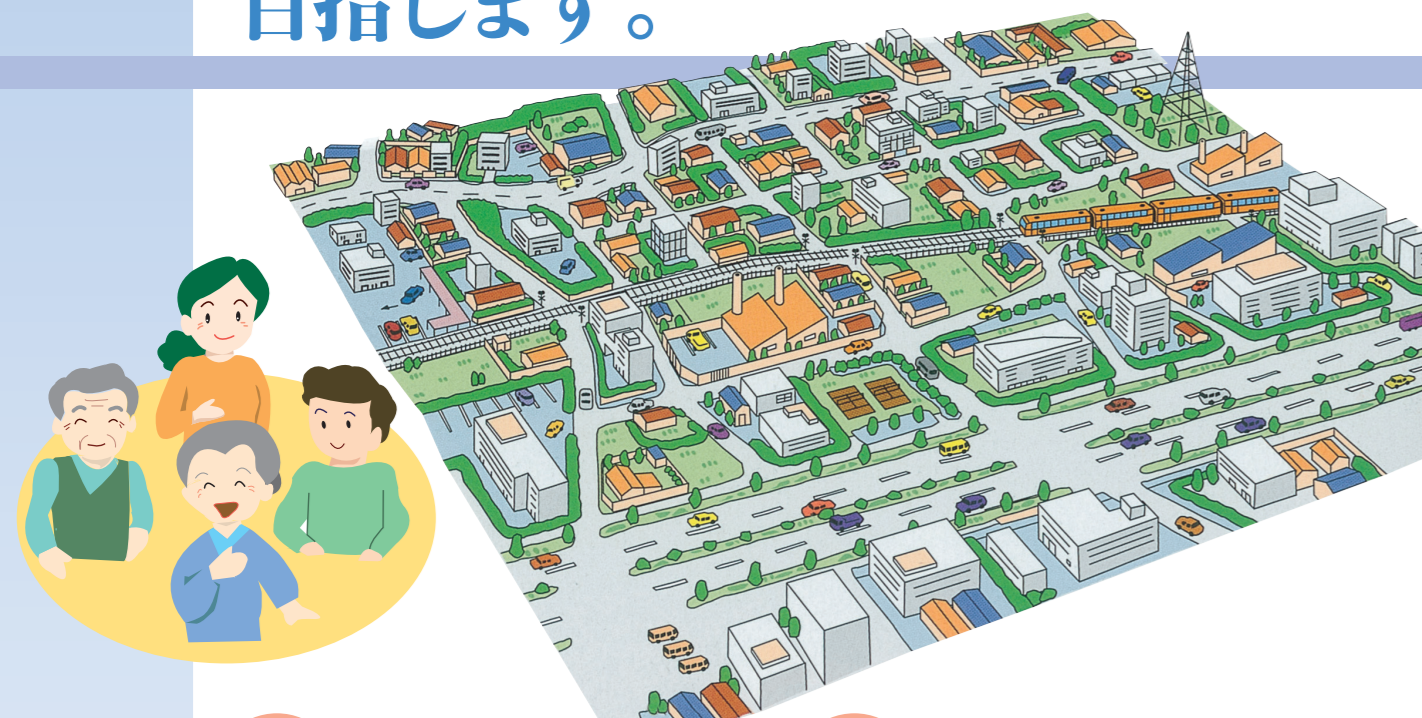


伊南バイパスは、
安全、快適、信頼される道を目指します。



効果1 市街地部の渋滞が緩和されます。

伊南バイパスの開通により、通過交通と域内交通の分離が図られ、市街地の渋滞が緩和されます。

効果2 安全性の高い道路の確保。

安全性の高い道路構造と交通容量の増大により、人や車が安心して通行ができます。

効果3 新市街地の支援。

駒ヶ根市の中心市街地周辺地域において、土地区画整理事業との一体的整備により、住みよい秩序ある新市街地の形成を支援します。

効果4 上伊那・飯伊地域の連携。

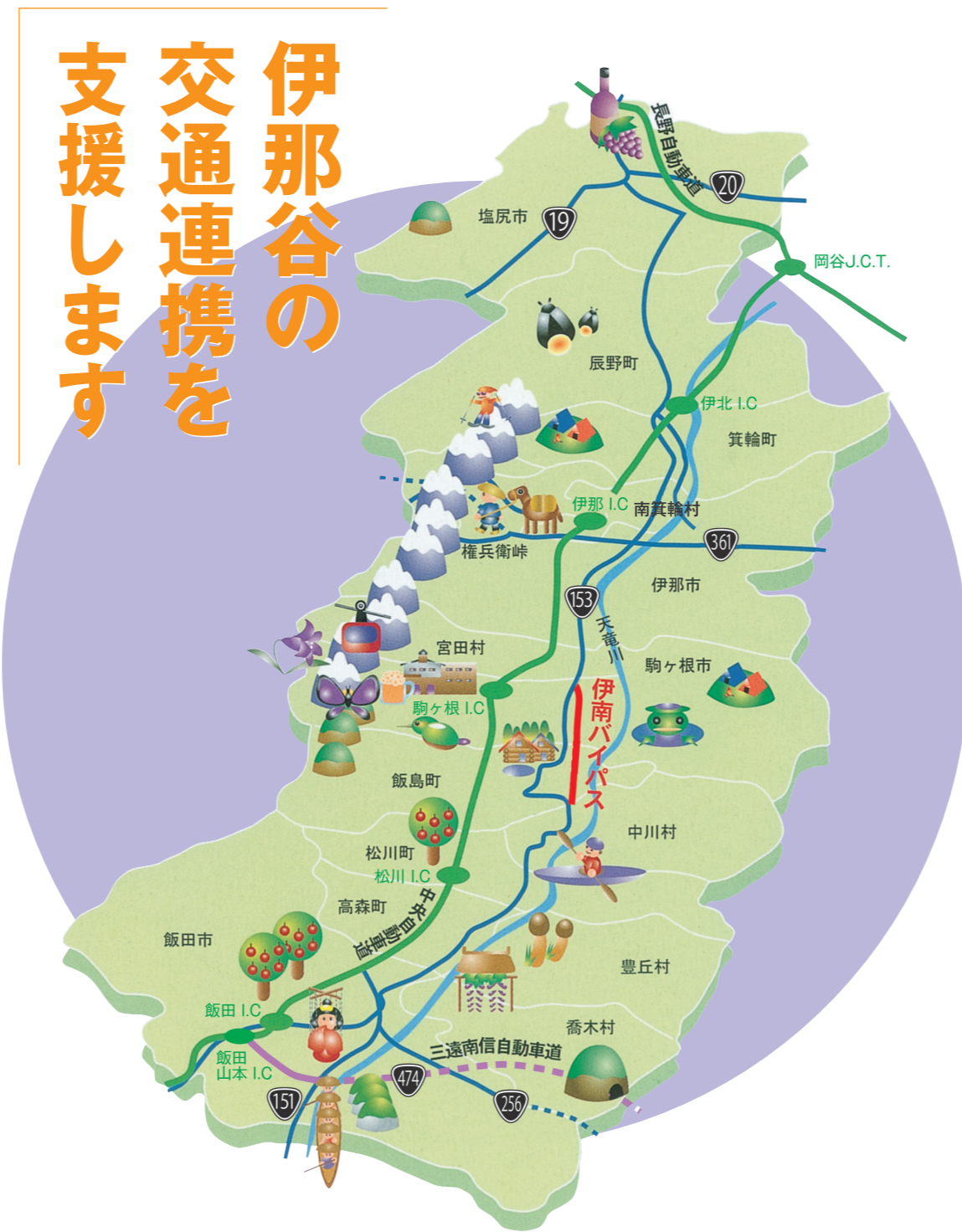
上伊那・飯伊地域の交通連携を促進し、伊那谷地域としての活性化・発展を支援します。

潤いのある歩道整備

一般国道153号伊南バイパスの新たに開通した区間(駒ヶ根市中通り～琴平町)において、せせらぎが流れるミニパークなどを設けた潤いのある歩道整備が実施されました。



伊那谷の
交通連携を
支援します



国土交通省 中部地方整備局
飯田国道事務所

〒395-0024 長野県飯田市東栄町3350 TEL (0265) 53-7200(代表) FAX (0265) 53-7210
ホームページアドレス: <http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/>
E-mail: cbr-iikoku@mlit.go.jp

2018.10(600)

伊南 inan バイパス

安心・快適、
ググ〜ンと便利に
なりました!



一般国道153号

国土交通省

153

今、伊那谷地域はこんな問題をかかえています。

一般国道153号は、名古屋から塩尻市を結ぶ延長約220kmの国土を横断する重要な広域幹線道路であるとともに、伊那谷を南北に縦貫し中央自動車道の代替機能を有する伊那谷の生命線です。また、当該地域においては駒ヶ根市・飯島町の中心市街地を貫く重要な生活道路の役割も果たしています。

上伊那地域における産業や観光の大きな核の一つである当該地域はモータリゼーションの急激な発達と精密機械産業の集積による交通量の増加により、朝夕の通勤時間を中心に市街地部の慢性的な渋滞を引き起こしています。また、近年の大型ショッピングセンターの相次ぐ出店により、休日の生活交通の増加



渋滞する国道153号(駒ヶ根市赤穂)
※伊南バイパス駒ヶ根工区開通前 現道

が著しく、観光交通とあわせり休日においても渋滞が増加しているのが現状です。



これじゃ、いざという時に困るわ。



渋滞により、救急車や消防車など緊急自動車の活動が妨げられています。

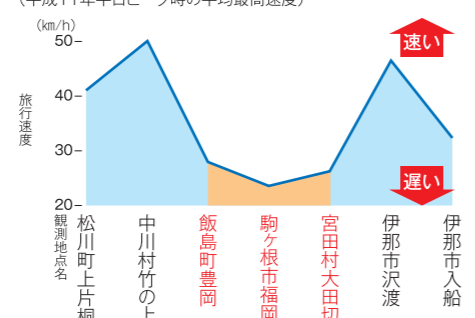
駒ヶ根市及び飯島町内は、唯一の広域幹線道路である国道153号にすべての車が集中します。そのため上伊那地域の中で、最も渋滞の激しい区間のひとつとなっています。



渋滞は緊急自動車の出動にも支障が出ている(駒ヶ根市)

国道153号松川～伊那間における旅行速度

(平成11年平日ピーク時の平均最高速度)



交通量



※伊南バイパス駒ヶ根工区開通前 現道

安全が一番なんじゃがな。



アップダウンやカーブが多く、震災対策緊急輸送路としての機能が不十分です。

国道153号は「長野県地域防災計画」において、第一次緊急輸送路に指定されていますが、当該地域は伊那谷特有な田切地形により非常に複雑な地形となっています。

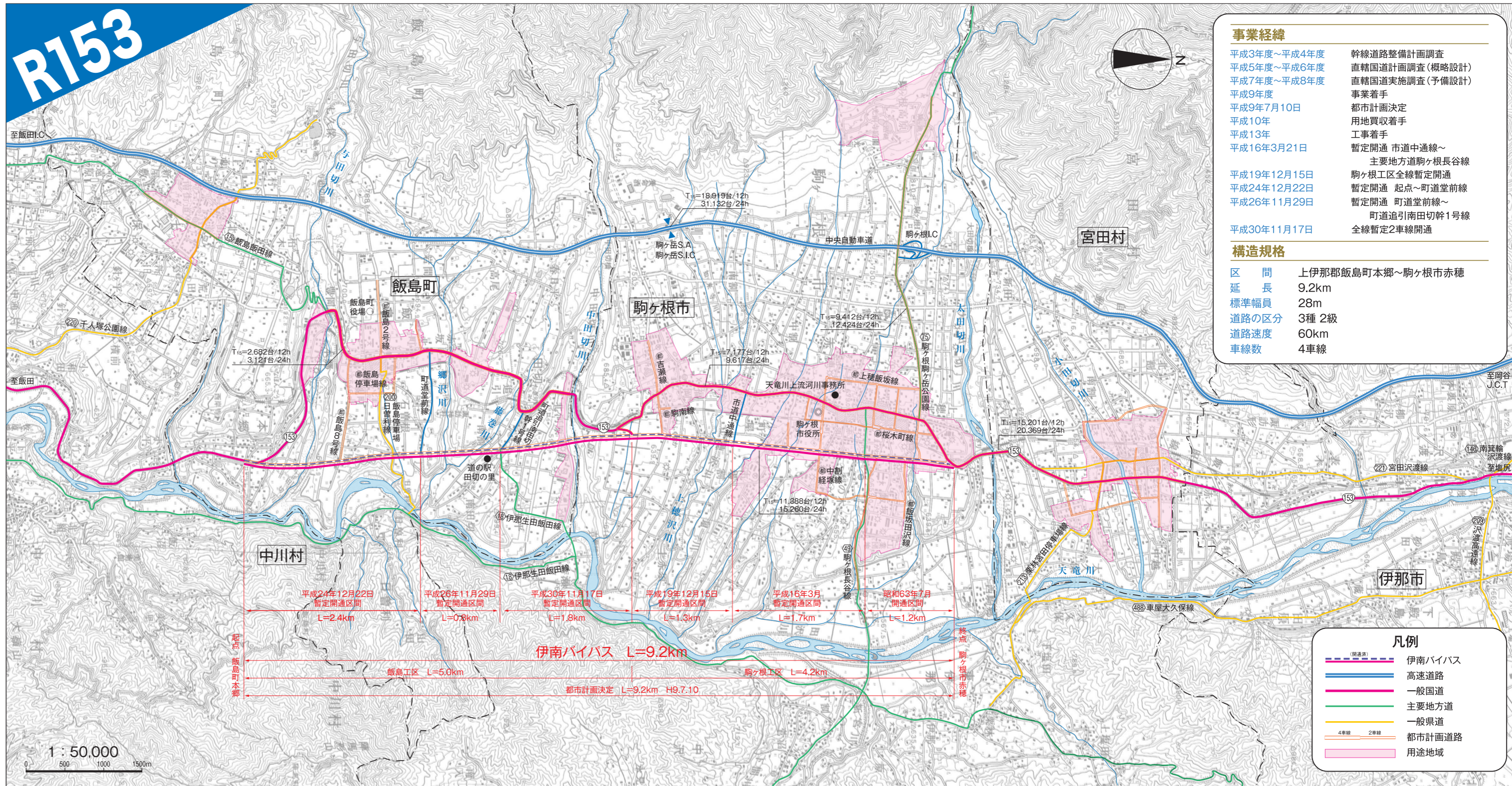
そのため、現在の国道153号は急激な起伏やカーブが多く災害時や冬季における安全性が求められるなかで、残念ながら信頼性が高い状況にあるとはいえません。

※第一次緊急輸送路 東海地震の地震防災対策強化地域において、地方拠点都市もしくは重要な港湾・空港を結ぶ路線。

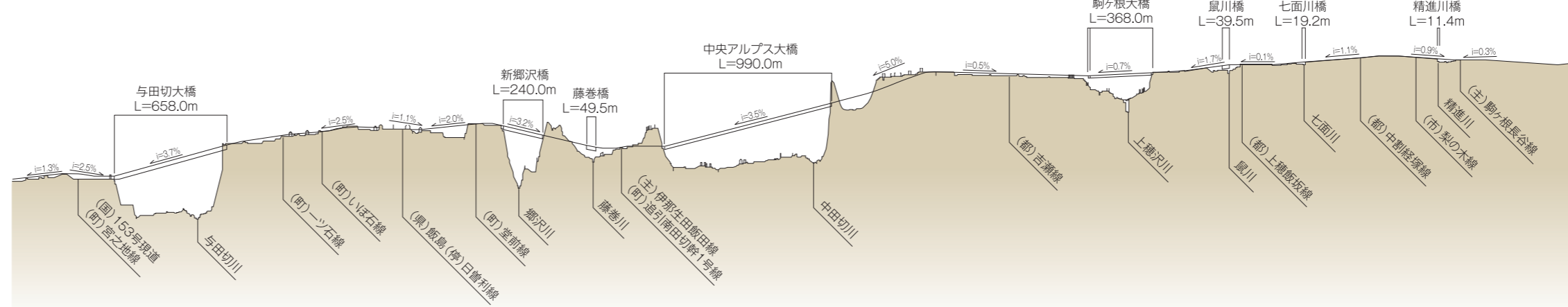
※田切地形 隆起浸食が繰り返されるなかで山すその断層が活発化し、その結果扇状地が分断されている地形を言う。



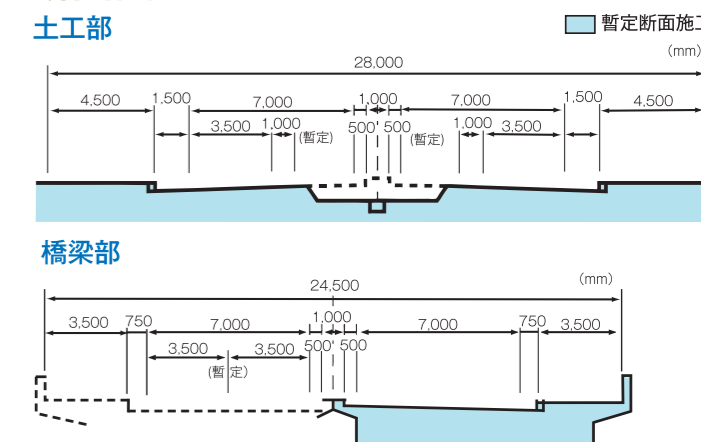
現在のルートは急カーブも多い(飯島町と田切橋付近)



縦断面図



断面図



事業経緯

平成3年度～平成4年度	幹線道路整備計画調査
平成5年度～平成6年度	直轄国道計画調査(概略設計)
平成7年度～平成8年度	直轄国道実施調査(予備設計)
平成9年度	事業着手
平成9年7月10日	都市計画決定
平成10年	用地買収着手
平成13年	工事着手
平成16年3月21日	暫定開通 市道中通過～主要地方道駒ヶ根長谷線
平成19年12月15日	駒ヶ根工区全線暫定開通
平成24年12月22日	暫定開通 起点～町道堂前線
平成26年11月29日	暫定開通 町道堂前線～町道追引南田切幹1号線
平成30年11月17日	全線暫定2車線開通

構造規格

区間	上伊那郡飯島町本郷～駒ヶ根市赤穂
延長	9.2km
標準幅員	28m
道路の区分	3種 2級
道路速度	60km
車線数	4車線

凡例

伊南バイパス	(赤線)
高速道路	(青線)
一般国道	(黄線)
主要地方道	(緑線)
一般県道	(紫線)
都市計画道路	(茶線)
用途地域	(ピンク)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。承認番号 平26情復479号